

附属機関等の名称 会議概要

1 審議会名 第4回安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会
2 日 時 平成25年8月23日 午前9時30分から午前12時00分まで
3 会 場 長野県安曇野庁舎 4階 402会議室
4 出席者 栗田委員、市川委員、大石委員、内川委員、太田委員、青柳委員、竹澤委員、飯沼委員、遠藤委員、上野委員、布施委員、福島委員
5 市側出席者 宮澤まちづくり推進課長、南まちづくり推進担当係長、赤羽まちづくり推進担当主査、齋藤まちづくり推進担当主事
6 公開・非公開の別 公開
7 傍聴人 0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日 平成25年9月5日
協 議 事 項 等
<p>1 会議の概要</p> <p>〔1〕 開会</p> <p>〔2〕 会長あいさつ</p> <p>〔3〕 報告</p> <p style="padding-left: 2em;">(1)ワーキンググループの報告</p> <p>〔4〕 審議</p> <p style="padding-left: 2em;">(1)協働のまちづくり推進基本方針(案)について</p> <p style="padding-left: 2em;">(2)協働のまちづくり推進行動計画(案)について</p> <p style="padding-left: 2em;">(3)今後のスケジュールについて</p> <p style="padding-left: 4em;">第5回委員会</p> <p style="padding-left: 2em;">(4)その他</p> <p>〔5〕 閉会</p>

会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に所定の手続により公開してください。

会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

1 会議事項概要

〔1〕 開会

〔2〕 会長あいさつ

〔3〕 報告

(1)ワーキンググループの報告

【南補佐】5グループ毎にそれぞれ出されている解決策に対する「実現するための具体的方法」についての実施時期、誰が実施主体となるのか等を中心に検討いただいた。若干抽象的な部分もあるが、お気づきの点等あればご意見をいただきたい。

【意見】「いつまでに実施するか」「誰が実施するか」という項目において「すぐ実施」するのが「区長」となっているものは区長会等で説明を行うのか。

【宮澤課長】ワーキンググループの結果で「すぐ実施」となっているものは、区長会で相談させていただきながら、実施を検討する。

〔4〕 審議

(1)協働のまちづくり推進基本方針(案)について

【宮澤課長】協働のまちづくり推進基本方針(案)について説明

【布施委員】布施委員提案の前文について説明

【上野委員】上野委員提案の前文について説明

<原案における前文に関して>

【意見】「私たちは、安曇野に誇りと責任を持ち、一人ひとりが活動することで、いきいきと心豊かに暮らせる安全・安心な地域づくりを目指します。」という部分について、「責任」を「愛着」に「活動」を「行動」に置き換えるとやわらかい表現になる。

<上野委員提案の前文に関して>

【意見】資料No.3において、長野県の健康寿命がトップクラスである理由が減塩運動によるものであることを専門的観点から検証していただきたい。

【意見】「健康長寿」は長野県の特色であるが、近隣市の政策のキャッチフレーズとしてよく使われる。今回の基本方針は安曇野市のものであるから、安曇野市の特色あるものを提案していただく方が好ましい。

<布施委員提案の前文に関して>

【意見】3段落目「東日本大震災による地域の絆を重視した減災システムの模索や個人価値の多様化による～」という部分を、ぜひ前文に取り入れていただきたい。

【意見】資料NO.2 すべて行政におまかせのサービス 3行目「コレラや腸チフスなどの伝染性疾患に罹ることから守るため～」という部分を前文に加えれば、より具体性がまして、協働が理解しやすくなる。

<協働のまちづくり推進基本方針 第1章 6p～14p に関して>

【意見】6pの「協働のまちづくり推進が必要な背景」に布施委員提案の前文を加える。

【意見】布施委員の前文をまちづくり推進が必要な背景と並べて記載する。

【意見】8pの(2)「あらゆる主体とその責務」における市民(活動団体)の責務はNPOが主体となって書かれている。他にも、地区社協、自主防災会、消防団、日赤奉仕団や商工会、観光協会、育成会等が挙げられる。区、自治会等の地縁型組織とNPO、ボランティア等の市民活動団体と連携するなら、以上も加えたほうが良いし、13pの「NPOの概念」(広義のNPO)にも、以上の団体を加える。

【宮澤課長】NPOの概念を広く考え、再構築する。

【意見】7pの(1)に関して「私たち一人ひとりが心豊かに幸せに暮らすため、環境や考え

方が異なる主体同士が目的や課題を共有し、それぞれの特性を活かし、主体的・自発的に役割を担いあい、対等な立場で連携・協働します」という表現だと協働が目的になっているように感じるので、語尾を「・・・協働してまちづくりを進めます。」等に変える。

【質問】「安曇野らしい協働のまちづくり」を削除した理由は？

【宮澤課長】前文に安曇野らしい協働を入れるべきと感じた。検討する。

【意見】7pの「協働のメリットは？」の行政の部分に「行政は縦型から横型の総合行政になる」と加えるべき。

【意見】12pの(5)定義のNPOに関して、NPO法が存在することを追記する。

【意見】6pの「自助、共助、公助、と協働のまちづくり推進による、豊かな社会づくりを！」という部分で、自助、共助、公助について市民にもわかりやすいよう、注釈を加える。

【宮澤課長】以上、いただいた意見を参考に修正させていただく。

<第3章 15p、16p、17p に関して>

【意見】16pの(3)コーディネートシステムの確立 に関して、現在、市民活動センターは、主にNPOやボランティア団体の活動拠点であり、区等地縁型組織の利用は少数である。今後、市民活動センターは区等も積極的に利用できるべきであり、行政区域のあり方によって市民活動センターの位置づけも変わってくるので、数箇所に分散する必要がある。

【意見】16pの(3)コーディネート・システムの確立については市民活動団体登録数が少ないので、市民活動コーディネーターが声をかけ、登録を促す。

【意見】(4)まちづくり推進会議(仮称)の設置について本委員のメンバーを加えてまちづくり推進会議を設置してほしい。

【意見】まちづくり推進会議(仮称)の設置に関して、課題解決の組織として地域審議会や区長会がある。それを束ねる組織を更に作るとなると煩雑になるので、ネットワーク作りのための会議とするべき。

【意見】「まちづくり推進会議」は地域審議会や区長会に参加できない一般市民、とりわけ若者等の意見を聞く機会になるので、設置するべき。

(2)協働のまちづくり推進行動計画(案)について

<協働のまちづくり推進行動計画 第1章 23pに関して>

【意見】位置づけ図は基本方針にも入れるべき。

【宮澤課長】組み替えさせていただく。

【意見】21pの基本構想、基本計画に理事者から提案されたキャッチフレーズを加えていただきたい。

【宮澤課長】21pに関しては未完成である。キャッチフレーズ等加えさせていただきたい。

【意見】20pの基本構想、基本計画、実施計画のピラミッド図に関しては、どれが最上位か判別しづらいので、表現の工夫をしてほしい。

【意見】22p「協働の理解と人材育成」に関して、リーダーの育成、コーディネーターの養成と表現を変える。42pの人材育成支援の項目も表現を変える。

<第2章 24p、25pに関して>

【意見】24p(2)目的型市民活動団体の現状と課題の「地域課題解決を担う」を「地域の課題解決を担う」または「地域課題の解決を担う」に変える。

<第3章 26p～34p に関して>

【意見】29pの情報共有の概念図に「大学」とあるが、他にも学校、小中学校、高校と違

う表現があるので「教育機関」としたらどうか。

【質問】33pに記載のある「コミュニティ・ビジネス」とはどういう意味か。わかりやすくしてほしい。

【宮澤課長】地域の課題を解決する上で、ある程度の利益を創出し、生きがいの場とする。また、ビジネスの手法を用いて市民活動を行うことである。

【意見】33p「コミュニティ・ビジネス」を「コミュニティ・ビジネスの創出」としたらどうか。

<第4章 35p～41pに関して>

【意見】38pの「あらゆる主体の情報収集及び発信」の部分で、ホームページ上に情報を掲載するだけでは、発信とはいえない。積極的に他の情報発信メディア等を加えていただきたい。

【意見】42pに関して1、支援の(3)区の交付金に関して、一括交付金の概要は？また、市長が区の補助金を改めるといった記事が出ていたが、どのような状況か？

【宮澤課長】飯田市のパワーアップ地域交付金のようなものを想定している。現存する区への補助金を精査する中で一括することも検討したい。また、記事に関しては具体的には次年度どういう形で支援するかは具体的には未定。

【意見】WS等は継続して続けていただきたい。

【意見】市民提案制度はぜひ取り入れるべき。

【意見】42p 3、団体立ち上げ支援(2)NPO法人立ち上げ支援に関しては、現在形骸化したNPO法人等も多数存在するので、解散を支援する等、別角度からの支援も検討してほしい。

【意見】42p 1、支援(2)市民提案制度に関して、アイデアだけを募集しても意味がない。つながりひろがる地域づくり事業等の事業に実際に結びつかせる等、実体を持たせる。

【宮澤課長】つながりひろがる地域づくり事業補助金は現在、目的型組織が多く利用していて、今後は件数が減ってくると予想される。市民提案制度はアイデアだけでなくその提案に対し補助金をだすことも必要かと考える。

【意見】ライボ君安心メールのように情報を一斉送信するシステムを構築してほしい。

【意見】42pの人材育成支援に関して内容を充実させる。実践講座や人材育成講座等人づくりにスポットをあてる。

【意見】38p 市民活動センター登録の表中「市民活動センター登録団体数」を「市民活動登録団体数」に代える。センターに拘束されるイメージを加えないほうがよい。

【意見】全体を通して「コーディネーター」「コーディネート」「コーディネーション」の使い方を見直す。

【意見】42p 1、支援(助成、制度)を1 助成、制度の支援等に他と文脈をあわせる。

【意見】42p 2、人材育成を1番目に移動していただきたい。

(3)今後のスケジュールについて

第5回委員会

【宮澤課長】次回は9月6日(金)に開催を予定する。

(4)その他

[4] 閉会